

データヘルス計画

第3期計画書

最終更新日：令和6年04月03日

しんくみ関西健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	61839
組合名称	しんくみ関西健康保険組合
形態	総合
業種	金融業、保険業

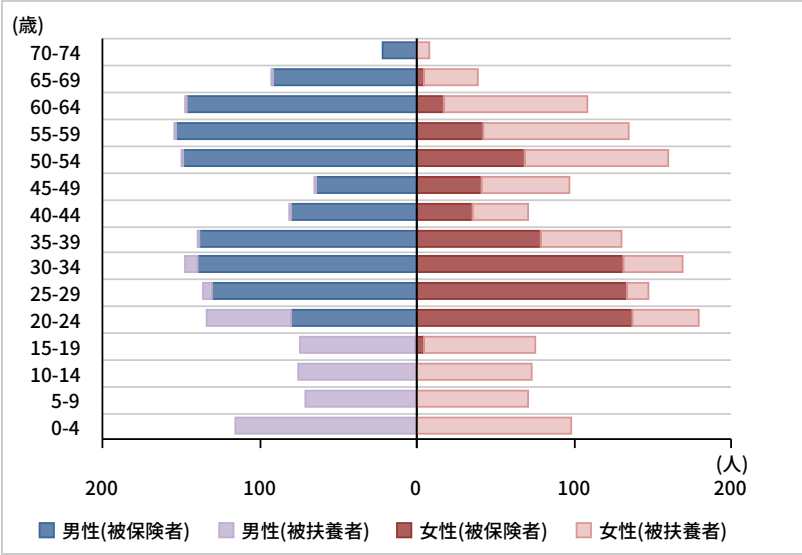
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	1,900名 男性62.6% (平均年齢45.2歳) * 女性37.4% (平均年齢35.2歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	3,162名	-名	-名
適用事業所数	13カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	13カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	86‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	4	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,038 / 1,243 = 83.5 %	
	被保険者	839 / 864 = 97.1 %	
	被扶養者	199 / 379 = 52.5 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	40 / 194 = 20.6 %	
	被保険者	34 / 173 = 19.7 %	
	被扶養者	6 / 21 = 28.6 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	3,675	1,934	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	4,050	2,132	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	6,150	3,237	-	-	-	-
	疾病予防費	113,003	59,475	-	-	-	-
	体育奨励費	2,400	1,263	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	1,140	600	-	-	-	-
	小計 …a	130,418	68,641	0	-	0	-
経常支出合計 …b	1,250,832	658,333	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	10.43						

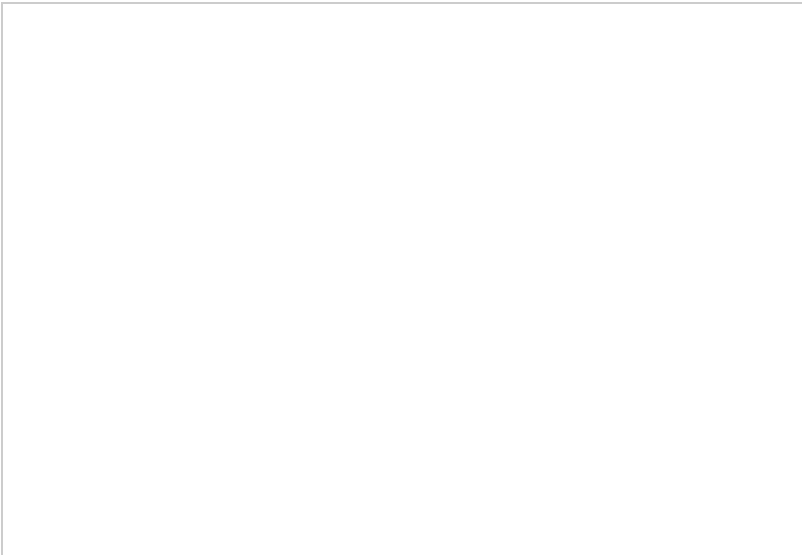
令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	1人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	80人	25～29	130人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	139人	35～39	138人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	80人	45～49	64人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	149人	55～59	153人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	146人	65～69	91人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	22人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	137人	25～29	134人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	131人	35～39	79人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	35人	45～49	41人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	68人	55～59	42人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	17人	65～69	4人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	116人	5～9	71人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	76人	15～19	73人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	54人	25～29	6人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	8人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1人	55～59	1人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	98人	5～9	71人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	73人	15～19	71人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	42人	25～29	14人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	38人	35～39	51人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	35人	45～49	56人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	91人	55～59	92人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	91人	65～69	34人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	8人			70～74	-人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

小規模な健康保険組合である。小規模（50人未満）と中規模（百人単位）の事業所がある。
 被保険者の高齢化が進んでいたが、ここ数年、新卒者の新規採用も増えており、30歳未満の若い被保険者が増加傾向にある。一方、40歳代の被保険者が少ない。定年再雇用の影響で65歳以降の被保険者が増えてきている。
 扶養率は若い被保険者の増加や、短期労働者の適用拡大に伴い減少してきている。
 当健保組合は医療専門職が不在。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

被保険者の健診実施率は、高いレベルを維持している。
 被扶養者の健診実施率は、取り組みにより徐々にあがってきている。
 若い加入者に対する事業が少ない（健康保険を身近に感じてもらえていない）
 被保険者から被扶養者に情報が流れていない。
 被扶養者へのアピール不足。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診	(被保険者)
特定健康診査事業	特定健診	(被扶養者)
特定保健指導事業	特定保健指導	
保健指導宣伝	機関誌発行	
保健指導宣伝	冊子の配布	
保健指導宣伝	子育て支援	
保健指導宣伝	健康管理委員会	
保健指導宣伝	医療費適正化推進	(医療費のお知らせ)
保健指導宣伝	健康者表彰	
保健指導宣伝	事務連絡会	
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の利用促進	
保健指導宣伝	健康こんばす年間使用料	
保健指導宣伝	新入職員の健康づくり研修会	
保健指導宣伝	事業所別医療費・健診分析レポート	
疾病予防	循環器検診	
疾病予防	がん検診	
疾病予防	人間ドック	
疾病予防	結核検診	
疾病予防	郵送型検診 (大腸)	
疾病予防	郵送型検診 (ピロリ菌)	
疾病予防	郵送型検診 (子宮)	
疾病予防	郵送型検診 (歯周病検診)	
疾病予防	郵送型検診 (新入職員のピロリ菌検査)	
疾病予防	若年層の子宮頸がん検診	
疾病予防	家族検診補助	
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助	
疾病予防	肺炎ワクチン予防接種補助	
疾病予防	帯状疱疹 (水痘ワクチン) 予防接種補助	
疾病予防	風疹・麻疹予防接種補助	
疾病予防	子宮頸がん予防接種補助	
疾病予防	電話健康相談	
疾病予防	感冒予防対策	
疾病予防	虫歯予防キャンペーン	
体育奨励	ハイキング大会	

事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定健康診査事業	3	特定健診(被保険者)	検診実施の促進(実施率95%以上) 現状の高い受診率を維持していく	全て	男女	40~74	被保険者	-867人		循環器健診・人間ドックで毎年度高い受診率を維持できている	現状の高い受診率を維持していく	4
	3	特定健診(被扶養者)	検診実施の促進(受診率55%以上) 第1期計画により実施率は上昇しており、第2期は現状の事業を継続する。	全て	男女	40~74	被扶養者	-222人		受診券を送付する際に大腸の検診キットを同封し、受診勧奨をしている。	以前に比べれば受診率は上がっているが、未だ低い受診率。出来れば特定健診のみの受診ではなく、循環器健診や人間ドックの受診を促していきたい。	3
特定保健指導事業	4	特定保健指導	第1期開始時に循環器健診委託先が特定保健指導を再開したため、平成27年度は初めて指導を受ける方が多く高い実施率だった。それ以降は実施率が下降しており、現状維持を目標とする。	全て	男女	40~74	被保険者,被扶養者,基準該当者	積極的支援終了者数 14人 動機付け支援終了者数 19人		一番受診者の多い、循環器健診委託先の大阪がん循環器病センターが高い実施率を維持している。	毎年実施率が落ちてきている。	3
保健指導宣伝	2,5	機関誌発行	加入者が興味を持って読めるように記事を工夫する。	全て	男女	18~74	被保険者		年1回、4月に健保ニュースを事業所経由で送付。	健康保険組合の現状や保健事業を周知する。	自宅に持ち帰らない者が多い。	3
	2,5	冊子の配布	業者と協議して加入者のニーズにあった冊子を配る。	全て	男女	18~74	被保険者,被扶養者,基準該当者,その他		新入職員の採用時に冊子を配布。配偶者へは年4回健康情報誌(すこやかファミリー)を配布。被保険者へは年6回各事業所(店舗毎)に健康情報誌(ジャストヘルス)を配布。	健康保険の正しい知識を普及する。	反響等がないため事業の評価が難しい。	3
	5	子育て支援	増加傾向にある若い加入者の子育てを支援する目的で0歳児を抱える家庭に育児情報を伝える。	全て	男女	0~0	被扶養者,基準該当者	-36人		子育て支援としても意義のある事業と考える。	委託業者とも協議してよりよい情報を伝えてもらう。	4
	1	健康管理委員会	保健事業の推進に向けて事業所担当者との連携を深める	全て	男女	18~74	その他		3月に実施する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大により開催を中止とし、資料の送付のみとした。	人事部の担当者と思疎通をはかり、協力が得られている。	新型コロナウイルスの影響で、今年度は資料の送付のみとなった。	4
	8	医療費適正化推進(医療費のお知らせ)	医療費のお知らせを通じて、受診の適正化とコスト意識の高揚をねらう。	全て	男女	0~74	加入者全員		毎月医療費のお知らせを送付した。ただし、任意継続被保険者には年1回。	事業所の健康管理委員会を通じて全件送付している。	医療費控除の問い合わせ(実際に払った額と医療費のお知らせの額が違う等)が業務の妨げになっている。	3
	2	健康者表彰	1年間医療費等を使わなかった世帯にその成果を表彰する。	全て	男女	0~74	基準該当者	-143件		健康意識の向上	特になし。	3
	1	事務連絡会	算定基礎届及び事務説明会を開催して、事業所と密な関係を維持する。	全て	男女	18~74	その他		6月に算定基礎届及び事務説明会を開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で資料の送付のみとしたうえで、全事業所に電話で疑問点等ないか確認した。	事業所担当者との連絡を密にする。	毎回不参加の事業所がある。	4
	7	ジェネリック医薬品の利用促進	現在は予算措置のみのため、効果的な方法が見つければ実施する。	全て	男女	0~74	加入者全員		広報誌にて、ジェネリック医薬品の広報を行っている	現在予算措置をして、いい方法があれば実施する予定。	現在は広報誌での広報のみ。	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価		
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因	
	5	健康こんぱす年間使用料	ホームページの閲覧数を増やして、健保をより身近に感じてもらう。	全て	男女	0～74	加入者全員		ホームページの閲覧数を増やして、健保をより身近に感じてもらう。	導入前に比べ、ホームページのアクセス数が増加している。	特になし。	3	
	5	新入職員の健康づくり研修会	新入職員に健康管理のための正しい知識を教え、将来の医療費を抑制する。	一部の事業所	男女	18～(上限なし)	被保険者,基準該当者		参加人数66名 ただし、当組合の被保険者ではない者も含む	大阪産業保健総合支援センターとの共催により費用がかからない。	講師と相談してより良い講義内容としていく。	4	
	1,8	事業所別医療費・健診分析レポート	医療費と健診データを分析して、その分析データを各事業所に送付して健康状態についての共通認識を持ち、両者が協力して改善するためのツールとして活用する。	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者		7月に全事業所に送付。 ただし、規模の小さい事業所には全体の分析結果のみ送付。	加入者の健康状態について事業所の理解を深める。	理解を深めたあとの事業展開を考える必要がある。	3	
疾病予防	3	循環器検診	受診率の維持・向上をめざす。	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,基準該当者		被保険者 777人 被扶養者 92人	公的機関であり、質の高い健診を行っている。	家族の受診率の向上。	4	
	3	がん検診	がんの早期発見早期治療を目標とする。	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,基準該当者		胃 被保険者 323人 被扶養者 35人 大腸 被保険者 427人 被扶養者 64人 肺C T 被保険者 290人 被扶養者 42人 乳 被保険者 183人 被扶養者 58人 子宮 被保険者 120人 被扶養者 49人	本人は高い受診率になっている。	被扶養者への受診勧奨。	3	
	3	人間ドック	健診受診率の向上とがんの早期発見早期治療を目標とする。	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者,基準該当者		人間ドック 被保険者 490人 被扶養者 90人 人間ドック (脳ドック付き) 被保険者 99人 被扶養者 25人 一泊二日の人間ドック 被保険者 6人 被扶養者 2人	本人は高い受診率とリピート率になっている。	被扶養者の受診率。	3	
	3	結核検診	循環器健診及び人間ドックの受診対象年齢外の若い方への補助を通じた受診促進。	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者		363人		若い方の健診の受診促進。	特になし。	3
	3	郵送型検診 (大腸)	被扶養者の特定健診受診率の向上	全て	男女	40～74	被扶養者,基準該当者,任意継続者		141人		大腸がんの早期発見に加えて特定健診の受診率向上も目的としている。	循環器健診・人間ドックを受診してもらう方が望ましい。	3
	3	郵送型検診 (ピロリ菌)	ピロリ菌を早期に除去して胃ガンの発生を抑制する。	全て	男女	18～(上限なし)	被保険者,被扶養者,基準該当者		19人		胃ガンの抑制をねらう。	受診率の向上をはかる。	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	3	郵送型検診(子宮)	子宮頸ガンの早期発見早期治療を目標とする。	全て	女性	18～34	被保険者,被扶養者,基準該当者	-13人		子宮がんの危険性のある加入者すべてに検診の機会を提供する。	申込数が少ない。	3
	3	郵送型検診(歯周病検診)	歯周病の早期治療と歯周病予防	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	-45人		歯周病の早期治療と歯周病予防。	申込者数を増やしていきたい。	3
	3	郵送型検診(新入職員のピロリ菌検査)	新入職員にピロリ菌検査を行い、陽性者には検診機関より除菌の受診勧奨を行うことにより将来の胃がんリスクを軽減する。	全て	男女	18～25	被保険者,基準該当者	-92名		早い時期にピロリ菌検査を行い、将来の胃がんリスクを大幅に減少させると考える。	若い世代で健康に関する意識が低く、除菌率が低い。どこまで受診勧奨をすべきか検討が必要。	3
	3	若年層の子宮頸がん検診	人間ドックや循環器健診に付随したオプションでの子宮頸がん検診では若年層がカバーできないため、女性スタッフのみの子宮頸がん検診を行う。オプションで乳がん検診も受診できるようにする。	全て	女性	18～29	被保険者,被扶養者,基準該当者	1月～3月に実施 申込者数 子宮頸がん 41名 乳がん 39名		若い世代の方が受診しやすいように女性スタッフのみの子宮頸がん検診を行う。		4
	3	家族検診補助	健診受診率の向上	一部の事業所	男女	18～74	被扶養者	-				-
	3	インフルエンザ予防接種補助	インフルエンザの罹患及び重症化の予防	全て	男女	0～74	加入者全員	-1200人		手厚い補助で利用者は多い。	特になし。	4
	3	肺炎ワクチン予防接種補助	前期高齢者の医療費抑制(肺炎予防)	全て	男女	60～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	-6人		前期高齢者の医療費抑制	利用者が少ない。年度初めにパンフレットを作成して広報活動を行っている。	3
	3	带状疱疹(水痘ワクチン)予防接種補助	带状疱疹の高額な医療費の抑制。水痘ワクチンを接種していない年齢層の人にワクチンを接種してもらうことにより水痘瘡の予防。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	-12人		带状疱疹の高額な医療費抑制	利用者が少ない。年度初めにパンフレットを作成して広報活動を行っている。	4
	3	風疹・麻疹予防接種補助	医療費の抑制。ワクチンを接種していない年齢層の人にワクチンを接種してもらうことにより風疹・麻疹の予防。	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	-1名		成人してからの風疹・麻疹の発症を防ぐ。	利用者が少ない。年度初めにパンフレットを作成して広報活動を行っている。	2
	3	子宮頸がん予防接種補助	子宮頸がんワクチンを接種する機会を増やすことにより、将来の子宮頸がんの発症を予防する。	全て	女性	11～44	被保険者,被扶養者,基準該当者	-2名		子宮頸がんの発症を防ぐ。	利用者が少ない。年度初めにパンフレットを作成して広報活動を行っている。	3
	6	電話健康相談	加入者の健康維持と知識不足による不必要な受診の回避。	全て	男女	0～74	加入者全員	-利用件数 21件		加入者の健康維持と知識不足による不必要な受診の回避をねらう。	利用者が少ない。	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者			事業費(千円)	振り返り			注2) 評価	
				対象事業所	性別	年齢		対象者	実施状況・時期	成功・推進要因		課題及び阻害要因
	8	感冒予防対策	感冒予防及び医療費削減	全て	男女	18～74	被保険者	-	申込件数 1847件	高い利用率を維持している。	特になし。	4
	8	虫歯予防キャンペーン	未就学児に歯磨き習慣をつけてもらう。子育て支援。	全て	男女	3～5	被扶養者	-	対象者数101人 達成者数32人	未就学児の虫歯予防と子育て支援。	特になし。	3
体育奨励	5	ハイキング大会	ハイキングを通じて運動の習慣づけを行う。また、子育て世代に健康保険組合を身近に感じてもらう。	全て	男女	0～74	加入者全員	-	383名	ハイキングを通じて運動の習慣づけを行う。	コロナの影響で参加率が低い。	3


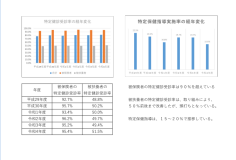


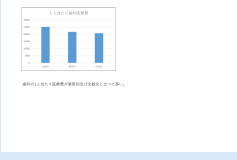
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

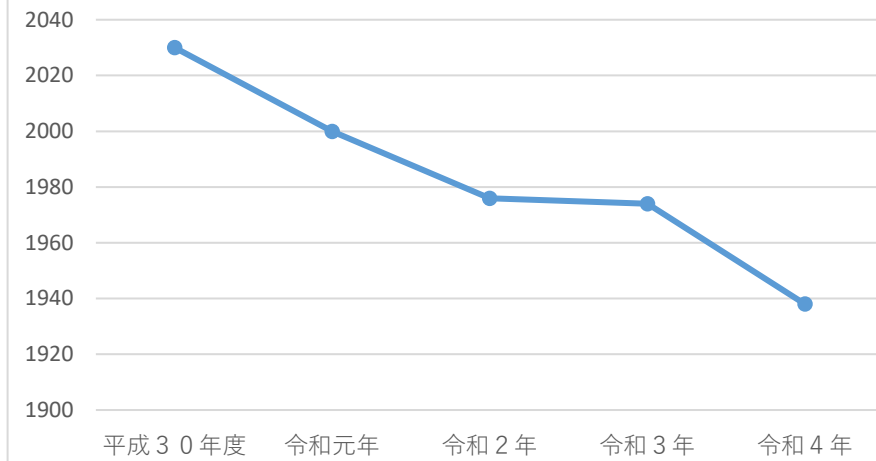
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

STEP 1-3 基本分析

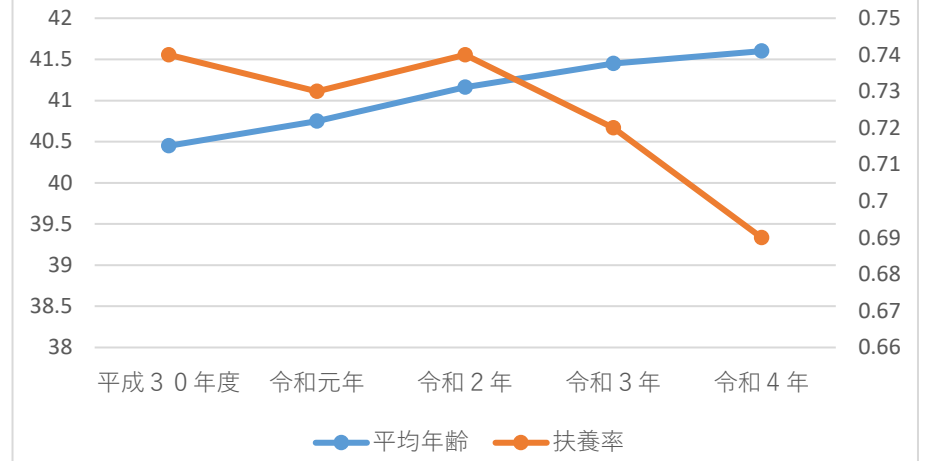
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被保険者数等	加入者構成の分析	-
イ		特定健診・保健指導	特定健診分析	-
ウ		疾病分類	医療費・患者数分析	-
エ		生活習慣病	医療費・患者数分析	-
オ		歯科医療費	医療費・患者数分析	-

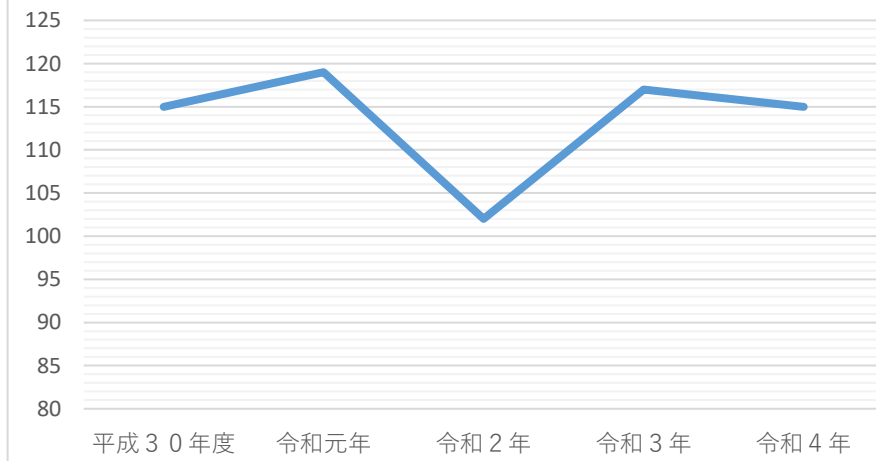
被保険者数の推移



平均年齢と扶養率の推移

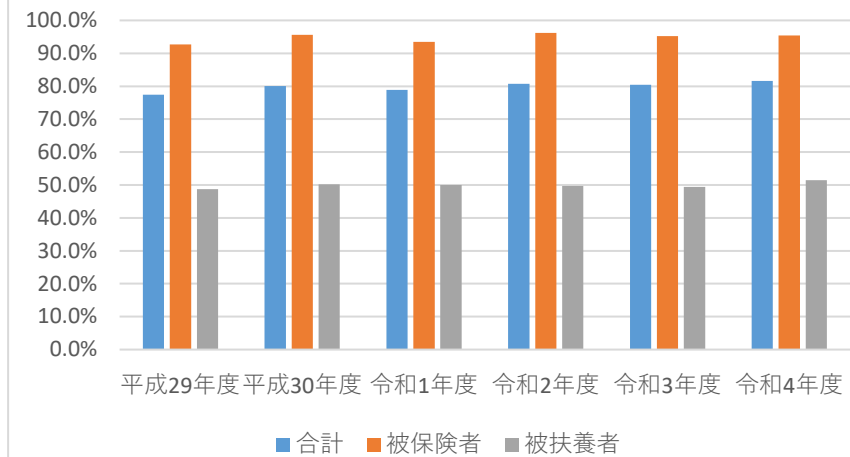


新卒加入者の推移

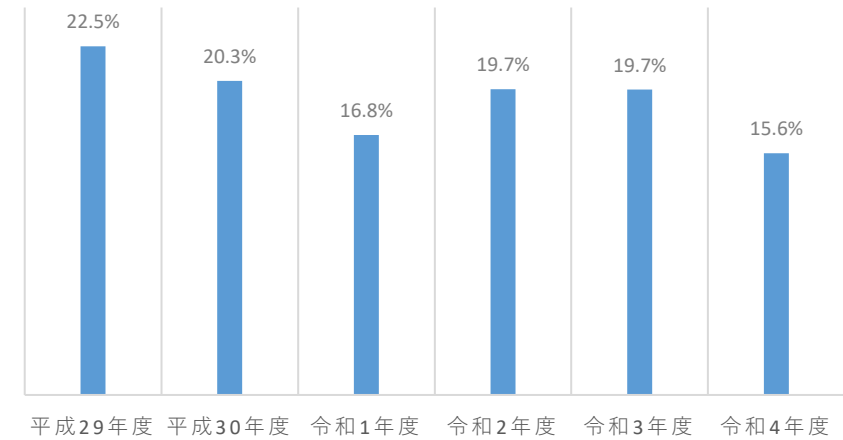


被保険者数は減少傾向である。
 新卒の加入者は一時期よりは減少したものの、
 コンスタントに入ってきている。しかし、定年
 再雇用の影響で平均年齢は上がってきている。
 扶養率は短時間労働者の適用拡大の影響で大きく下
 がってきている。

特定健診受診率の経年変化



特定保健指導実施率の経年変化



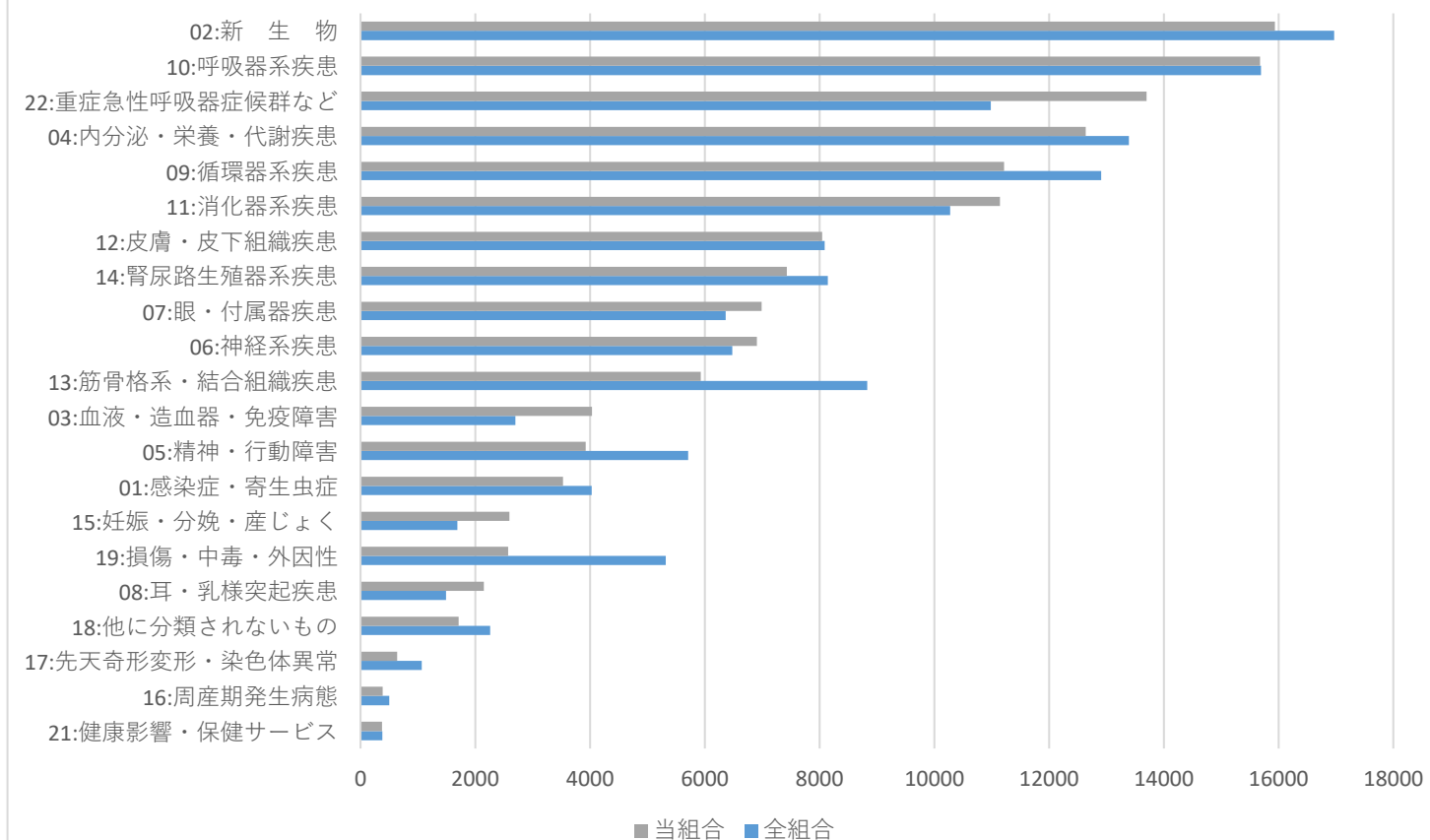
年度	被保険者の 特定健診受診率	被扶養者の 特定健診受診率
平成29年度	92.7%	48.8%
平成30年度	95.7%	50.2%
令和1年度	93.4%	50.0%
令和2年度	96.2%	49.7%
令和3年度	95.2%	49.4%
令和4年度	95.4%	51.5%

被保険者の特定健診受診率は90%を超えている

被扶養者の特定健診受診率は、取り組みにより、50%前後まで改善したが、頭打ちとなっている。

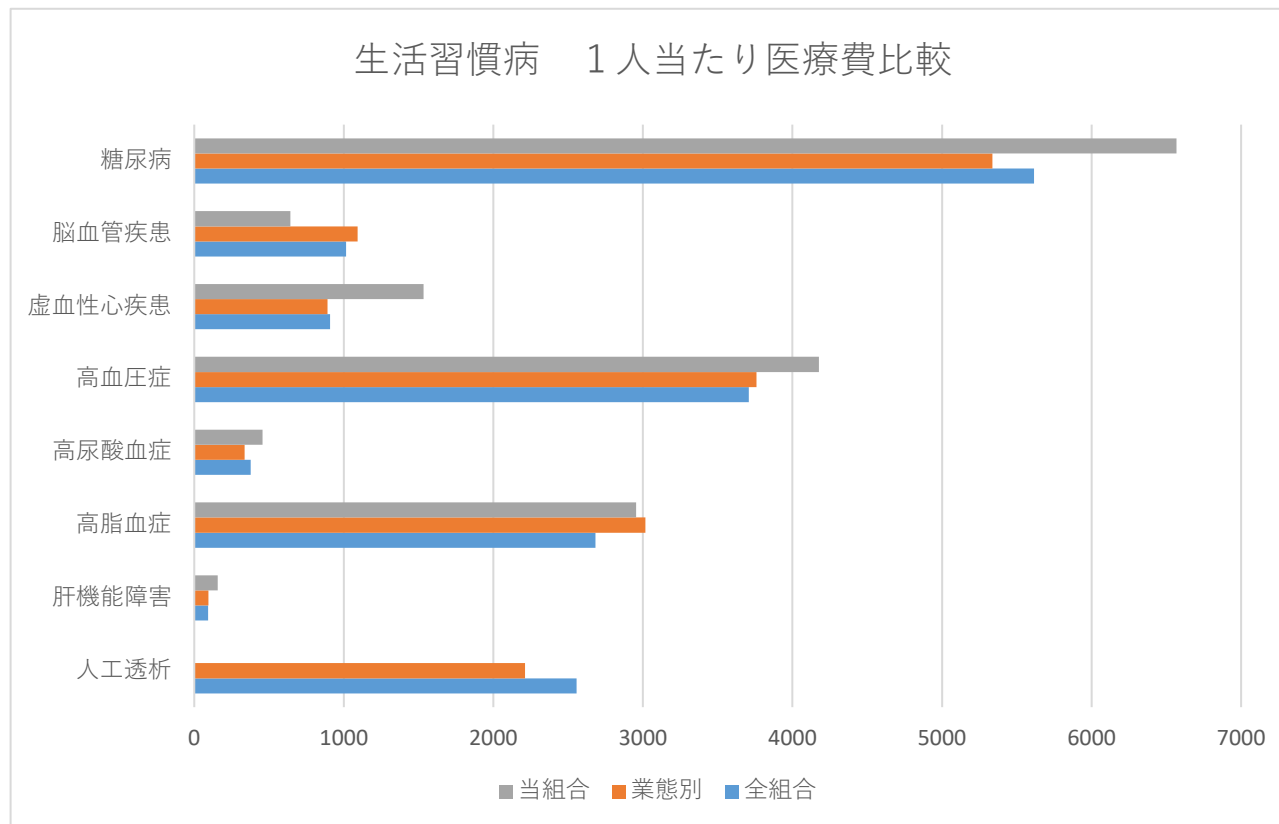
特定保健指導は、15～20%で推移している。

疾病分類別 1 人当たり医療費比較

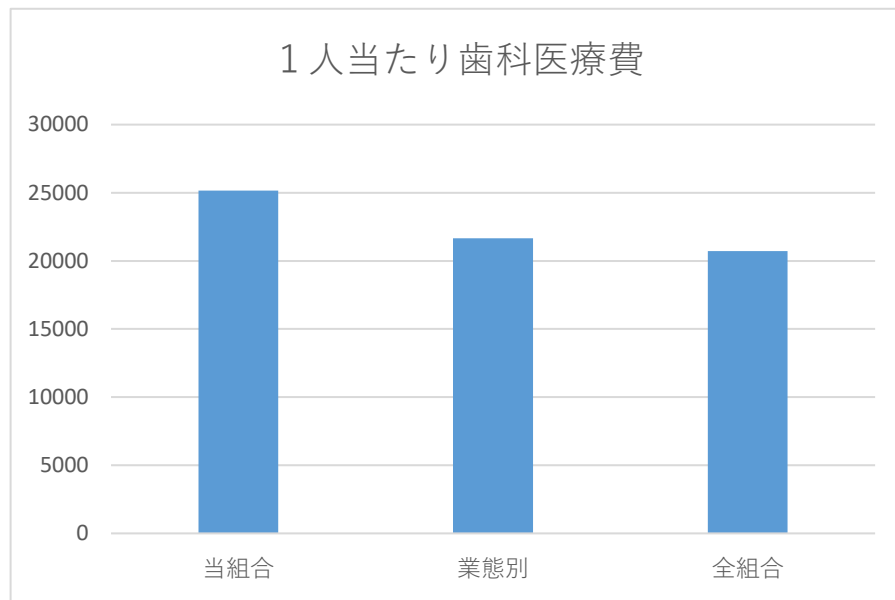


09:循環器系疾患と13:筋骨格系・結合組織疾患、05:精神・行動障害、19:損傷・中毒・外因性の医療費は全組合と比べて低い

22:重症急性呼吸器症候群と15:妊娠・分娩・産じょく、03:血液・造血器・免疫障害の医療費は全組合と比べて高い。



糖尿病及び虚血性心疾患、高血圧の1人あたり医療費が業態別及び全組合と比べて高い。
生活習慣の改善を働きかける必要がある。



歯科の1人当たり医療費が業態別及び全組合と比べて高い。

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業	➔	循環器健診開始年齢の30歳より若い方へのアプローチを考える。 子育て世代への保健事業を検討する。	✓
2	イ	一定の成果を上がっているが、まだ低い家族の特定健診受診率	➔	方向性はこのままで、受診率の粋を見守り、必要であれば新たな対策を講じる。	
3	イ, ウ, エ	生活習慣病の一人当たり医療費が高い	➔	特定保健指導の実施率を上げる。 若年層から生活習慣病対策の健康教育を行う。	✓
4	オ	歯科疾患の一人当たり医療費が高い	➔	歯科疾患の予防対策を行う。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	小規模な健康保険組合である。 被保険者の高齢化が進んでいたが、ここ数年、新卒者の新規採用も増えており、30歳未満の若い被保険者が増加傾向である。一方、40歳代の被保険者が少ない。	➔	将来に向けて、若い被保険者への健康教育を行う必要がある。 新生児も含めた子育て世代への事業を意識して行う。
2	医療専門職が不在	➔	医学的な知識・経験が必要な場面では委託業者の活用を検討する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	健保ニュースを家に持ち帰らない被保険者が多い	➔	健診の案内等は被扶養者宛で自宅に配送するなど工夫する。 健保ニュースやホームページの内容等を工夫。
2	健診を受診率が頭打ちしている。 循環器健診のみを受診してがん検診を受けていない被保険者も多い。	➔	郵送型検診等で健診の受診年齢に達していない加入者やがん検診を受診していない加入者に受診の機会を増やしていく。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

末期がんなど高額な医療費が出ないよう早期発見、早期治療をめざし、健診を充実させる。

若年層への健康教育や事業を行うことによって、将来の医療費抑制を行うことを目標とする。また、子育て世代への事業を行い、子育てしやすい、若い人が働きやすい職場づくりに寄与する。

事業全体の目標

特定健診・特定保健指導の受診率を上げる。

末期がんなど高額な医療費が出ないよう早期発見、早期治療を目指す。
長期的視野での生活習慣病等の医療費の低減をめざす。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

個別の事業

特定健康診査事業	特定健診	(被保険者)
特定健康診査事業	特定健診	(被扶養者)
特定保健指導事業	特定保健指導	
保健指導宣伝	機関誌発行	
保健指導宣伝	冊子の配布	
保健指導宣伝	子育て支援	
保健指導宣伝	健康管理委員会	
保健指導宣伝	医療費適正化推進	(医療費のお知らせ)
保健指導宣伝	健康者表彰	
保健指導宣伝	事務連絡会	
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の利用促進	
保健指導宣伝	健康こんばす年間使用料	
保健指導宣伝	新入職員の健康づくり研修会	
保健指導宣伝	事業所別医療費・健診分析レポート	
疾病予防	循環器健診	
疾病予防	がん検診	
疾病予防	人間ドック	
疾病予防	結核検診	
疾病予防	郵送型検診	(大腸)
疾病予防	郵送型検診	(ピロリ菌)
疾病予防	郵送型検診	(子宮)
疾病予防	郵送型検診	(歯周病検診)
疾病予防	郵送型検診	(新入職員のピロリ菌検査)
疾病予防	若年層の子宮頸がん検診	
疾病予防	家族検診補助	
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助	
疾病予防	肺炎ワクチン予防接種補助	
疾病予防	風疹・麻疹予防接種補助	
疾病予防	带状疱疹(水痘ワクチン) 予防接種補助	
疾病予防	子宮頸がん予防接種補助	
疾病予防	電話健康相談	
疾病予防	感冒予防対策	
疾病予防	虫歯予防キャンペーン	
体育奨励	ハイキング大会	

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連										
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																	
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度												
アウトプット指標												アウトカム指標																		
職場環境の整備																														
加入者への意識づけ																														
個別の事業																														
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	エ,オ,ケ,サ-	-	ア,ウ,エ,カ-	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	検診実施の促進(実施率95%以上)現状の高い受診率を維持していく	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)										
													受診率(【実績値】93.8% 【目標値】令和6年度:95% 令和7年度:95% 令和8年度:95% 令和9年度:95% 令和10年度:95% 令和11年度:95%)-												喫煙率(【実績値】34.4% 【目標値】令和6年度:29% 令和7年度:28% 令和8年度:27% 令和9年度:26% 令和10年度:25% 令和11年度:24%)被保険者及び被扶養者合計					
													3	既存(法定)	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	エ,オ,ク,ケ-	-	ウ,エ,カ-	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続
受診率(【実績値】45.9% 【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:52% 令和8年度:54% 令和9年度:56% 令和10年度:58% 令和11年度:60%)-												喫煙率(【実績値】34.4% 【目標値】令和6年度:29% 令和7年度:28% 令和8年度:27% 令和9年度:26% 令和10年度:25% 令和11年度:24%)被保険者及び被扶養者合計																		
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	コ,サ-	-	カ-	-													継続	継続	継続	継続	継続	継続
													実施率(【実績値】21.2% 【目標値】令和6年度:22% 令和7年度:24% 令和8年度:26% 令和9年度:28% 令和10年度:29% 令和11年度:30%)-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率(【実績値】22.1% 【目標値】令和6年度:25% 令和7年度:25% 令和8年度:25% 令和9年度:25% 令和10年度:25% 令和11年度:25%)-					
													保健指導宣伝	2,5	既存	機関誌発行	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス-	-	シ-	-	継続	継続	継続	継続	継続
独自の記事を入れる(【実績値】2件 【目標値】令和6年度:2件 令和7年度:2件 令和8年度:2件 令和9年度:2件 令和10年度:2件 令和11年度:2件)業者が準備している記事だけでなく、健康保険組合の現状や保健事業を広報できる紙面を作成する。												機関誌発行のためアウトカムは設定せず(アウトカムは設定されていません)																		
2,5	既存	冊子の配布	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,基準該当者,その他	1	ス-	-	シ-	-	継続														継続	継続	継続	継続	継続
												新入職員への配布数(【実績値】115件 【目標値】令和6年度:120件 令和7年度:120件 令和8年度:120件 令和9年度:120件 令和10年度:120件 令和11年度:120件)-												新入職員への冊子の配布のためアウトカムは設定せず。(アウトカムは設定されていません)						
												5	既存	子育て支援	全て	男女	0～0	被扶養者,基準該当者	1	ス-	-	シ-	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	増加傾向にある若い加入者の子育てを支援する目的で0歳児を抱える家庭に育児情報を伝える。
対象人数(【実績値】38人 【目標値】令和6年度:40人 令和7年度:40人 令和8年度:40人 令和9年度:40人 令和10年度:40人 令和11年度:40人)-																								アンケートはがき(【実績値】8件 【目標値】令和6年度:10件 令和7年度:10件 令和8年度:10件 令和9年度:10件 令和10年度:10件 令和11年度:10件)-						
1	既存	健康管理委員会	全て	男女	18～74	その他	1	ケ-	-	ア-	-													継続	継続	継続	継続	継続	継続	保健事業の推進に向けて事業所担当者との連携を深める
												参加人数(【実績値】8人 【目標値】令和6年度:11人 令和7年度:11人 令和8年度:11人 令和9年度:11人 令和10年度:11人 令和11年度:11人)事業所に参加を促す												会議(健康管理委員会)の開催のため(アウトカムは設定されていません)						
												8	既存	医療費適正化推進(医療費のお知らせ)	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス-	-	シ-	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	医療費のお知らせを通じて、受診の適正化とコスト意識の高揚をねらう。
年間送付件数(【実績値】14,296件 【目標値】令和6年度:14,000件 令和7年度:14,000件 令和8年度:14,000件 令和9年度:14,000件 令和10年度:14,000件 令和11年度:14,000件)送付件数集計は年度ではなく1月診療分～12月診療分																								医療費に関する問い合わせ件数(【実績値】0件 【目標値】令和6年度:5件 令和7年度:5件 令和8年度:5件 令和9年度:5件 令和10年度:5件 令和11年度:5件)-						

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
2	既存	健康者表彰	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ア,ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	1年間医療費等を使わなかった世帯にその成果を表彰する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
件数(【実績値】126件 【目標値】令和6年度：120件 令和7年度：120件 令和8年度：120件 令和9年度：120件 令和10年度：120件 令和11年度：120件)-												アウトプットの件数で健康な世帯の数の評価をするため(アウトカムは設定されていません)							
1	既存	事務連絡会	全て	男女	18～74	その他	1	ケ	算定基礎届及び事務説明会を開催する。	ア	-	継続	継続	継続	継続	継続	算定基礎届及び事務説明会を開催して、事業所と密な関係を維持する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
参加人数(【実績値】11人 【目標値】令和6年度：11人 令和7年度：11人 令和8年度：11人 令和9年度：11人 令和10年度：11人 令和11年度：11人)-												会議（算定基礎届及び事務説明会）の開催のため(アウトカムは設定されていません)							
7	既存	ジェネリック医薬品の利用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	予算措置のみを行っている	シ	-	予算措置のみ	予算措置のみ	予算措置のみ	予算措置のみ	予算措置のみ	現在は予算措置のみのため、効果的な方法が見つければ実施する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
実施件数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1件 令和7年度：1件 令和8年度：1件 令和9年度：1件 令和10年度：1件 令和11年度：1件)-												予算化するも今年度実施せず(アウトカムは設定されていません)							
5	新規	健康こんばす年間使用料	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	ホームページに健康に関するコンテンツをいれて、ホームページの閲覧促進をねらう。	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	ホームページの閲覧数を増やして、健保をより身近に感じてもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
ホームページ閲覧数(【実績値】4,224件 【目標値】令和6年度：7,500件 令和7年度：7,600件 令和8年度：7,700件 令和9年度：7,800件 令和10年度：7,900件 令和11年度：8,000件)-												ホームページの中のコンテンツの費用のため(アウトカムは設定されていません)							
5	新規	新入職員の健康づくり研修会	一部の事業所	男女	18～(上限なし)	被保険者,基準該当者	3	ス	協会主催の新入職員研修会の中で時間を頂戴し、健康づくり研修と称して研修会を行う。	ウ,シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	新入職員に健康管理のための正しい知識を教え、将来の医療費を抑制する。	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信子育て世代への保健事業	
参加人数(【実績値】79人 【目標値】令和6年度：80人 令和7年度：80人 令和8年度：80人 令和9年度：80人 令和10年度：80人 令和11年度：80人)協会主催の研修会のため、参加人数には加入者以外も含まれる。												10年後、20年後を見据えた、すぐに結果のでない事業のため。(アウトカムは設定されていません)							
1	既存	事業所別医療費・健診分析レポート	全て	男女	0～(上限なし)	被保険者	1	ス	-	ア	-	継続	継続	継続	継続	継続	医療費と健診データを分析して、その分析データを各事業所に送付して健康状態についての共通認識を持ち、両者が協力して改善するためのツールとして活用する。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）	
実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)-												事業の特性上、アウトカムの設定ができない。(アウトカムは設定されていません)							
疾病予防	3	既存	循環器健診	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,ウ,オ,ケ,サ	30歳以上の加入者に循環器健診を行う。健康管理委員会等で家族の参加を促す。	カ	-	継続	継続	継続	継続	継続	受診率の維持・向上をめざす。	生活習慣病の一人当たり医療費が高い
	受診人数(【実績値】879人 【目標値】令和6年度：650人 令和7年度：650人 令和8年度：650人 令和9年度：650人 令和10年度：650人 令和11年度：650人)被保険者及び被扶養者合計 加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。												受診率(【実績値】77.8% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：81% 令和8年度：82% 令和9年度：83% 令和10年度：84% 令和11年度：85%)受診率の維持・向上 人間ドックも含めた健診受診率（分母は4月1日に在籍している年度中に30歳以上になる加入者）						
	3	既存	がん検診	全て	男女	30～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,ウ,オ,ケ,サ	循環器健診のオプションとしてがん検診を同日に実施する。	カ	-	継続	継続	継続	継続	継続	がんの早期発見早期治療を目標とする。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
受診者数(胃) (【実績値】381人 【目標値】令和6年度：300人 令和7年度：300人 令和8年度：300人 令和9年度：300人 令和10年度：300人 令和11年度：300人)加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。												末期がん患者の高額レセプト件数(【実績値】5件 【目標値】令和6年度：0件 令和7年度：0件 令和8年度：0件 令和9年度：0件 令和10年度：0件 令和11年度：0件)がんの早期発見・早期治療で末期がん患者の高額レセプト件数を0とすることを目標とする。							

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
3	既存		人間ドック	全て	男女	35～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,ウ,オ,ケ,サ			継続		継続		継続		継続		継続			健診受診率の向上とがんの早期発見早期治療を目標とする。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
受診者数(大腸)(【実績値】496人 【目標値】令和6年度:400人 令和7年度:400人 令和8年度:400人 令和9年度:400人 令和10年度:400人 令和11年度:400人)加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。																								
受診者数(肺)(【実績値】250人 【目標値】令和6年度:350人 令和7年度:350人 令和8年度:350人 令和9年度:350人 令和10年度:350人 令和11年度:350人)加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。																								
受診者数(乳)(【実績値】229人 【目標値】令和6年度:200人 令和7年度:200人 令和8年度:200人 令和9年度:200人 令和10年度:200人 令和11年度:200人)加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。																								
受診者数(子宮)(【実績値】152人 【目標値】令和6年度:160人 令和7年度:160人 令和8年度:160人 令和9年度:160人 令和10年度:160人 令和11年度:160人)加入者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。																								
受診率(【実績値】77.8% 【目標値】令和6年度:80% 令和7年度:81% 令和8年度:82% 令和9年度:83% 令和10年度:84% 令和11年度:85%)受診の促進 循環器健診も含めた健診受診率(分母は4月1日に在籍している年度中に30歳以上になる加入者)												末期がん患者の高額レセプト件数(【実績値】5件 【目標値】令和6年度:0件 令和7年度:0件 令和8年度:0件 令和9年度:0件 令和10年度:0件 令和11年度:0件)がんの早期発見・早期治療で末期がん患者の高額レセプト件数を0とすることを目標とする。												
3	既存		結核検診	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	2	ケ,サ			継続		継続		継続		継続		継続			循環器健診及び人間ドックの受診対象年齢外の若い方への補助を通じた受診促進。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
補助件数(【実績値】497件 【目標値】令和6年度:370件 令和7年度:370件 令和8年度:370件 令和9年度:370件 令和10年度:370件 令和11年度:370件)被保険者数は減少傾向であり、目標値は現状維持でも受診率は上がる。												結核健診部分(胸部レントゲン)のみの補助のため(アウトカムは設定されていません)												
3	新規		郵送型検診(大腸)	全て	男女	40～74	被扶養者,基準該当者,任意継続者	1	ス			継続		継続		継続		継続		継続			被扶養者の特定健診受診率の向上	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
返送率(【実績値】33.7% 【目標値】令和6年度:35% 令和7年度:35% 令和8年度:35% 令和9年度:35% 令和10年度:35% 令和11年度:35%)												被扶養者の特定健診受診率(【実績値】49.9% 【目標値】令和6年度:50% 令和7年度:52% 令和8年度:54% 令和9年度:56% 令和10年度:58% 令和11年度:60%)												
3	既存		郵送型検診(ピロリ菌)	全て	男女	18(上限なし)	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,ス			継続		継続		継続		継続		継続			ピロリ菌を早期に除去して胃ガンの発生を抑制する。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
申込件数(【実績値】48件 【目標値】令和6年度:20件 令和7年度:20件 令和8年度:20件 令和9年度:20件 令和10年度:20件 令和11年度:20件)加入期間中に1回及びピロリ菌除菌治療後の除菌判定に1回のみ受診可のため、申込件数は年が経つごとに減少する。												検査陽性時のピロリ菌の除菌率(【実績値】50% 【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%)検査陽性時のピロリ菌の除菌率												
3	既存		郵送型検診(子宮)	全て	女性	18～34	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ケ,ス			継続		継続		継続		継続		継続			子宮頸がんの早期発見早期治療を目標とする。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
申込件数(【実績値】5件 【目標値】令和6年度:15件 令和7年度:15件 令和8年度:15件 令和9年度:15件 令和10年度:15件 令和11年度:15件)												陽性時の病院受診率(【実績値】0% 【目標値】令和6年度:100% 令和7年度:100% 令和8年度:100% 令和9年度:100% 令和10年度:100% 令和11年度:100%)												
3	新規		郵送型検診(歯周病検診)	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ス			継続		継続		継続		継続		継続			歯周病の早期治療と歯周病予防	歯科疾患の一人当たり医療費が高い
申込件数(【実績値】- 【目標値】令和6年度:50件 令和7年度:50件 令和8年度:50件 令和9年度:50件 令和10年度:50件 令和11年度:50件)												陽性者の歯科受診率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:80% 令和7年度:80% 令和8年度:80% 令和9年度:80% 令和10年度:80% 令和11年度:80%)												
3	既存		郵送型検診(新入職員のピロリ菌検査)	全て	男女	18～25	被保険者,基準該当者	1	イ,ス			継続		継続		継続		継続		継続			新入職員にピロリ菌検査を行い、陽性者には検診機関より除菌の受診勧奨を行うことにより将来の胃がんリスクを軽減する。	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業
実施率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:90% 令和7年度:90% 令和8年度:90% 令和9年度:90% 令和10年度:90% 令和11年度:90%)												陽性者の除菌率(【実績値】- 【目標値】令和6年度:60% 令和7年度:60% 令和8年度:60% 令和9年度:60% 令和10年度:60% 令和11年度:60%)強制は難しいため、低めの目標値とする。												

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
3	既存(法定)	若年層の子宮頸がん検診	全て	女性	18～29	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	イ,サ,ス	-	ア,カ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	子宮頸がんの早期発見早期治療を目標とする。	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業
申込者数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)-												陽性の場合の病院受診率【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
3	既存	家族検診補助	一部の事業所	男女	18～74	被扶養者	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	健診受診率の向上	一定の成果が上がっているが、まだ低い家族の特定健診受診率
申込件数【実績値】 0件 【目標値】 令和6年度：5件 令和7年度：5件 令和8年度：5件 令和9年度：5件 令和10年度：5件 令和11年度：5件)-												健診受診率を上げるため予算計上して、ホームページや機関誌で広報しているが、実際に補助の申請がないため。(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	インフルエンザの罹患及び重症化の予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
接種人数【実績値】 1,566人 【目標値】 令和6年度：1,200人 令和7年度：1,200人 令和8年度：1,200人 令和9年度：1,200人 令和10年度：1,200人 令和11年度：1,200人)被保険者及び被扶養者合計												接種率【実績値】 43.9% 【目標値】 令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)接種率の向上(分母は1.0月月報の加入者数)							
8	既存	肺炎ワクチン予防接種補助	全て	男女	60～74	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	前期高齢者の医療費抑制(肺炎予防)	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
接種人数【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：10人 令和7年度：10人 令和8年度：10人 令和9年度：10人 令和10年度：10人 令和11年度：10人)被接種率の向上												事業の内容が特殊で当健保の加入者数では申込者が非常に少ないためアウトカムは設定せず。(アウトカムは設定されていません)							
8	既存	風疹・麻疹予防接種補助	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	医療費の抑制。ワクチンを接種していない年齢層の人にワクチンを接種してもらうことにより風疹・麻疹の予防。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
認知度【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)パンフレットを作成して健保ニュース及び家族向け冊子に同封するなど、広報して認知度を上げる。												申込人数【実績値】 2人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)-							
8	新規	帯状疱疹(水痘ワクチン)予防接種補助	全て	男女	0(上限なし)	加入者全員	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	帯状疱疹の高額な医療費の抑制。水痘ワクチンを接種していない年齢層の人にワクチンを接種してもらうことにより水痘瘡の予防。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
認知度【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)パンフレットを作成して健保ニュース及び家族向け冊子に同封するなど、広報して認知度を上げる。												申込人数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：15人 令和7年度：15人 令和8年度：15人 令和9年度：15人 令和10年度：15人 令和11年度：15人)被保険者及び被扶養者合計							
8	既存	子宮頸がん予防接種補助	全て	女性	11～44	被保険者,被扶養者,基準該当者	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	子宮頸がんワクチンを接種する機会を増やすことにより、将来の子宮頸がんの発症を予防する。	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業
認知度【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)パンフレットを作成して健保ニュース及び家族向け冊子に同封するなど、広報して認知度を上げる。												申込人数【実績値】 0人 【目標値】 令和6年度：5人 令和7年度：5人 令和8年度：5人 令和9年度：5人 令和10年度：5人 令和11年度：5人)被保険者及び被扶養者合計							
6	既存	電話健康相談	全て	男女	0～74	加入者全員	1	エ,ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	加入者の健康維持と知識不足による不必要な受診の回避。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
チラシを使った広報活動【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：4回 令和7年度：4回 令和8年度：4回 令和9年度：4回 令和10年度：4回 令和11年度：4回)-												利用件数【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50件 令和7年度：50件 令和8年度：50件 令和9年度：50件 令和10年度：50件 令和11年度：50件)-							
8	既存	感冒予防対策	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	感冒予防及び医療費削減	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
申込件数(【実績値】1,976件 【目標値】令和6年度：1,850件 令和7年度：1,850件 令和8年度：1,850件 令和9年度：1,850件 令和10年度：1,850件 令和11年度：1,850件)-												申込率(【実績値】97.6% 【目標値】令和6年度：98% 令和7年度：98% 令和8年度：98% 令和9年度：98% 令和10年度：98% 令和11年度：98%)-							
8	新規	虫歯予防キャンペーン	全て	男女	3～5	被扶養者	1	ス	3～5歳の未就学児に歯磨きカレンダーと歯磨きセット及び歯みがきに関する冊子を送付して、1ヶ月の歯磨きチャレンジを行い達成者に記念品を贈る。	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	未就学児に歯磨き習慣をつけてもらう。子育て支援。	増加傾向にある若い被保険者への健康教育及び情報発信 子育て世代への保健事業 歯科疾患の一人当たり医療費が高い
送付人数(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100人 令和7年度：100人 令和8年度：100人 令和9年度：100人 令和10年度：100人 令和11年度：100人)-												達成率(【実績値】 - 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-							
8	既存	ハイキング大会	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	-	シ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	ハイキングを通じて運動の習慣づけを行う。また、子育て世代に健康保険組合を身近に感じてもらう。	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
申込人数(【実績値】499人 【目標値】令和6年度：500人 令和7年度：400人 令和8年度：500人 令和9年度：400人 令和10年度：500人 令和11年度：400人)被保険者及び被扶養者合計 隔年で内容が違いため目標人数も隔年で違う												参加率(【実績値】92.8% 【目標値】令和6年度：95% 令和7年度：95% 令和8年度：95% 令和9年度：95% 令和10年度：95% 令和11年度：95%)参加人数/申込人数*1.0.0							

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施
ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築
ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス/ライブラリーの設置） シ. その他